CKD

扱い易さと設置性を重視

新商品

冷凍式エアドライヤ
ゼロアクア GK3100シリーズ

REFRIGERATED AIR DRYER

CKD株式会社

CC-865

扱いやすさと設置性を重視

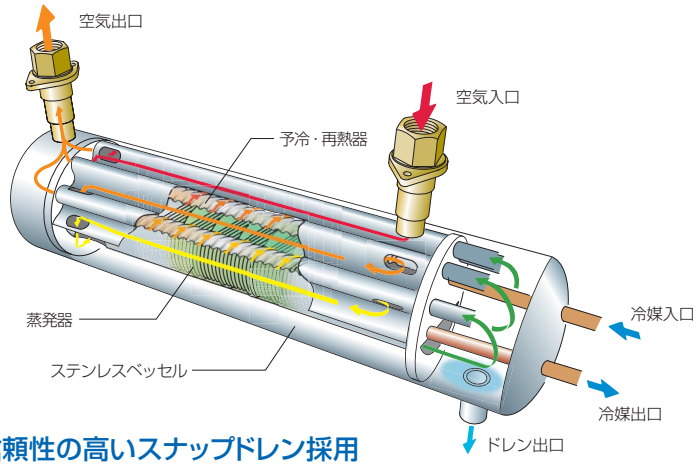
冷凍式エアドライヤ
GK3100シリーズ／～2.2、～5.5kW用

小形ドライヤ　RD1000シリーズが、
環境に優しいGKシリーズとして生まれ変わりました。

高品質・高信頼を約束

オイルフリーエアに対応した、ステンレス製熱交換器

新開発のステンレス製ベッセルを採用した熱交換器を搭載しましたので、熱交換器からの発塵を防ぎます。



信頼性の高いスナップドレン採用

ドレン排出には信頼性の高いスナップドレンを搭載。確実にドレンを排出します。
またドライヤの運転を止めなくても手動で排出が可能です。

容量の小さいエアコンプレッサにも使用可能

0.2kW、0.4kWおよび0.75kWなどの小型エアコンプレッサにもご使用いただけます。

使用レンジが広がりました

処理流量アップ(最大約6%)、使用圧力範囲拡大(最低0.15MPa～)
60Hz電源では、220Vがダウントランス無しでご使用いただけます。

省エネ

スナップドレンだから無駄なエアロスはありません

ドライヤでドレンが発生する都度排出しますので、無駄なエアロスはありません。

低圧損

GK3103は、0.005MPa以下。GK3106は、0.020MPa以下の低圧損を実現しました。

低消費電力を実現

新冷媒で従来機種を上回る省エネを実現(GK3106で17%減)

簡単メンテナンス

点検は操作部を見ればOK

通常点検は操作部を見るだけで可能。
冷媒圧力計と運転ランプにより、運転状態が一目でわかります。

ダストフィルタ標準装備

ダストフィルタに付いた汚れは、エアコン感覚で除去。お手入れも簡単です。

パネルの取り外しが簡単

左右のメンテナンスパネルの取外しは、ワンタッチです。パネルが大きいため、ドレン排出器のメンテナンスも容易です。

パイバス配管セットは、アクセサリとしてご用意

工場の集中管理が可能

遠隔操作は、元電源の入り切りで可能。
運転信号出し(オプション)のご用意も可能です。

ゼロアクアGKシリーズ誕生

ゼロアクア
GK3100Series

幅185㎜の薄型スリム

薄型スリム&コンパクトなボディ
ラインに設置しても、装置に搭載しても、場所を選びません。

移動に便利な軽量・取手付き

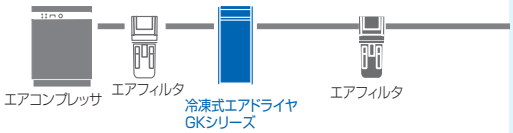
環境に優しい冷媒

冷媒には環境に優しい新冷媒R-407Cを採用。オゾン層を破壊しないだけではなく、地球温暖化についても従来の冷媒と比べ、特性に優れております。

シリーズ体系

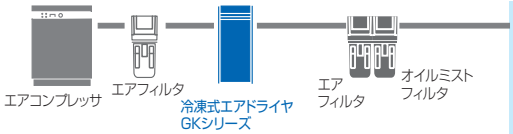
シリーズ		用途	定格条件				適用エアコンプレッサ(kW)	
			圧力露点(℃)	入口空気圧力(MPa)	周囲温度(℃)	入口空気温度(℃)	~2.2	~5.5
標準入気タイプ	GK3100	エアライン末端設置	10	0.7	32	35	●	●

システム選定例一覧表



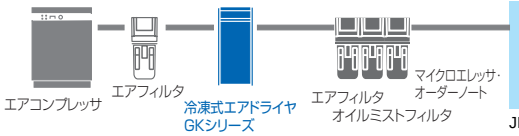
一般乾燥エア
- 空気動工具 空気ドリル・空気ドライバ 空気グラインダ
- 省力装置機器用
- 空気用治具工具
- 空気チャック・空気バイス
- 精密部品清掃用エア

JIS B 8392-1:2003 等級3.5.3及び3.6.3



オイルレス 清浄乾燥エア
- 計装用
- 計測用
- シーケンス制御 可動素子・純流体素子
- 高級塗装
- 精密工業

JIS B 8392-1:2003 等級2.5.1及び2.6.1



無臭エア
- 食品工業
- 医薬品工業
- 撹拌・輸送・乾燥・包装・醸造用エア

JIS B 8392-1:2003 等級2.5.1及び2.6.1

注1. 配管材は、防錆処理を施したもの(亜鉛めっき管、ライニング管およびステンレス鋼鋼管など)をご使用ください。配管材質により配管内に錆、剥離物などの異物が発生する可能性が高い場合は、ドライヤの直前にエアフィルタを設置してください。

注2. エアコンプレッサが小型の場合には、エアフィルタはノーマルクローズタイプを選定してください。

装置組付用(GK3100シリーズ)

定格(周囲温度:32℃、入口空気温度:35℃、圧力露点:10℃)

エアコンプレッサ 出力 kW	エアコンプレッサ 基準処理空気流量 m^3/min(ANR)	冷凍式エアドライヤ	エアフィルタ(3μmまたは5μm)	オイルミストフィルタ(油分除去用)	マイクロエレッサ・オーダーノート形(臭い除去用)
~2.2	0.32/0.37	GK3103-AC100/200V	F3000-10-W-F	M4000-10-W-F1	M4000-10-W-X
~3.7	0.52/0.57	GK3106-AC100/200V		M6000-20-W-F1	M6000-20-W-X
~5.5	0.75/0.82		F4000-15-W-F		

【例えば】
「等級3.6.3」とは固体粒子0.5~1.0μmが1m^3当り10,000個、圧力露点が+10℃以下、オイル濃度が1mg/m^3以下という等級を示します。

JIS B 8392-1:2003による圧縮空気品質等級

等級	固体粒子 1m^3当たりの最大粒子数 粒径 d μm d≦0.10	0.10<d≦0.5	0.5<d≦1.0	1.0<d≦5.0	粒径 μm	濃度 mg/m^3	湿度と水分 圧下露点 ℃	水分濃度 Cw g/m^3	オイル オイル総濃度 mg/m^3
0	等級1より厳しい条件で、使用者又は納入業者によって決定する。								
1	–	100	1	0	–	–	≦-70	–	≦0.01
2	–	100,000	1,000	10	–	–	≦-40	–	≦0.1
3	–	–	10,000	500	–	–	≦-20	–	≦1
4	–	–	–	1,000	–	–	≦+3	–	≦5
5	–	–	–	20,000	–	–	≦+7	–	–
6	–	–	–	–	≦5	≦5	≦+10	–	–
7	–	–	–	–	≦40	≦10	–	Cw≦0.5	–
8	–	–	–	–	–	–	–	0.5<Cw≦5	–
9	–	–	–	–	–	–	–	5<Cw≦10	–

JIS B 8392-1:2000が改訂され、JIS B 8392-1:2003となり、内容が変わりました。

本製品を安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずお読みください

当社製品を使用した装置を設計製作される場合には、装置の機械機構と空気圧制御回路または水制御回路とこれらをコントロールする電気制御によって運転されるシステムの安全性が確保できる事をチェックして安全な装置を製作する義務があります。
当社製品を安全にご使用いただくためには、製品の選定及び使用と取扱い、ならびに適切な保全管理が重要です。
装置の安全性確保のために、警告、注意事項を必ず守ってください。
なお、装置における安全性が確保できることをチェックして安全な装置を製作されるようにお願い申し上げます。

⚠ 警告

1 本製品は、一般産業機械用装置･部品として設計、製造されたものです。よって、取り扱いは充分な知識と経験を持った人が行ってください。

2 製品の仕様範囲内でのご使用を必ずお守りください。

製品固有の仕様外での使用は出来ません。また、製品の改造や追加工は絶対に行わないでください。
なお、本製品は一般産業用装置・部品での使用を適用範囲としておりますので、屋外での使用、および次に示すような条件や環境で使用する場合には適用外とさせていただきます。
（ただし、ご採用に際し当社にご相談いただき、当社製品の仕様をご了解いただいた場合は適用となりますが、万一故障があっても危険を回避する安全対策を講じてください。）

❶原子力･鉄道･航空･船舶･車両･医療機械、飲料・食品などに直接触れる機器や用途、娯楽機器･緊急遮断回路･プレス機械･ブレーキ回路･安全対策用など、安全性が要求される用途への使用。
❷人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用。

3 装置設計･管理等に関わる安全性については、団体規格、法規等を必ずお守りください。

ISO4414、JIS B 8370（空気圧システム通則）
JFPS2008（空気圧シリンダの選定及び使用の指針）
高圧ガス保安法、労働安全衛生法および その他の安全規則、団体規格、法規など。

4 安全を確認するまでは、本製品の取り扱いおよび配管・機器の取り外しを絶対に行わないでください。

❶機械･装置の点検や整備は、本製品が関わる全てのシステムにおいて安全であることを確認してから行ってください。
❷運転停止時も、高温部や充電部が存在する可能性がありますので、注意して行ってください。
❸機器の点検や整備については、エネルギー源である供給空気や供給水、該当する設備の電源を遮断し、システム内の圧縮空気は排気し、水漏れ・漏電に注意して行ってください。
❹空気圧機器を使用した機械･装置を起動または再起動する場合、飛び出し防止処置等システムの安全が確保されているか確認し、注意して行ってください。

5 事故防止のために必ず、次頁以降の警告及び注意事項をお守りください。

■ここに示した注意事項では､安全注意事項のランクを｢危険｣｢警告｣｢注意｣として区別してあります。

⚠ **危険:** (DANGER) 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合。

⚠ **警告:** (WARNING) 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。

⚠ **注意:** (CAUTION) 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

なお「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

免責事項

1．当社は、当該製品の使用もしくは使用上の不具合から発生した事業の中断、利益の損失、人身傷害、遅滞費用、またはいかなる付随的・間接的な損失・費用・損害の責任を負うものではありません。
2．当社は、以下の損害について一切責任を負いません。
①天災、CKDの責に帰さない原因による火災、第3者あるいはお客様の故意または過失等により当該製品が故障した場合の損害。
②当該製品を貴社の機器に組込み使用される際、貴社の機器が業界の通念上備えられている機能・構造などをもっていれば回避できたであろう損害。
③当社カタログあるいは取扱説明書等に記載された仕様の範囲を超えて使用された場合、及び取付、据付、調整、保守等の注意事項に記載された以外の行為がされた場合の損害。
④当社が認めていない製品の改造、他のソフトウェア、他の接続機器との組み合せによる不具合からの損害。

メインライン機器

本製品を安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずお読みください。
一般の注意事項は、「空圧・真空・補助機器総合 No.CB-024S」をご確認ください。

個別注意事項：冷凍式エアドライヤ ゼロアクア GKシリーズ

製造者の免責責任

⚠ 警告

次の項目においては製造者は責任を負いません。

- 使用者による使用方法の重大な錯誤があった場合。
- 使用者によって、不正な改造または、正規部品を使わずに修理された場合。

設計・選定時

⚠ 警告

〈用途〉

■圧縮空気の除湿以外の用途は禁止します。

■潜函シールド・呼吸用等の医療機器には使用しないでください。

- 人身事故などの原因となります。

■車両・船舶などの輸送機器への搭載使用はしないでください。

- 振動等が原因で内部機器破損の原因となります。

⚠ 注意

〈空気質〉

■入口空気に腐食性ガス、化学薬品、有機溶剤、可燃性ガスが含まれるときは使用しないでください。

〈空気温度〉

■最高入気温度を超える使用はしないでください。

■入気温度が高いときにはアフタークーラ等を設置して、最高入気温度（以下）まで下げて使用してください。なお、アフタークーラなどで発生したドレンは、ドライヤの前で取り除いてください。

輸送時

■本製品には、12kg 未満の冷媒（R-407C）が充填されています。輸送（陸上、海上、航空）に際しては、各々に定められる法規に基づいて輸送してください。

運　搬

⚠ 警告

■運搬中の横倒し、振動・衝撃は厳禁です。

取付・据付・調整時

⚠ 警告

〈電気配線〉
■仕様範囲内の電源電圧で使用してください。

〈調整・運転〉
■頻繁な起動／停止は行なわないでください。故障の原因となります。

■ドライヤの起動／停止を行なう場合はシステムとして、『ドライヤの起動／停止は 10 回 / 時以下とし、再起動から次の停止までの時間は5分間以上。また、停止時間は 3 分間以上のこと。』
を必ず考慮してください。

■元電源には、必ず単独で過負荷保護および漏電による感電防止のため、過負荷保護兼用形漏電しゃ断器を設置してください。

■必ずアースを接地してください。

⚠ 注意

〈周囲温度〉
■最高使用温度を超える場所では使用しないでください。

■輻射熱を受ける場所には設置しないでください。

■最高使用温度を超えることが予測される場合は、換気扇や空気導入口の設置等の対策を行ってください。

■最低使用温度よりも下回る場所では使用しないでください。

〈場所〉
■屋内に設置してください。

■ゴミ､ほこりのない通風の良い所へ設置してください。

■雨水のかからない場所へ設置してください。

■湿度の高い所、結露の可能性のある所では使用しないでください。

■直射日光が当たる所､熱の発生する所を避けてください。

■腐食性ガスのある場所では使用しないでください。

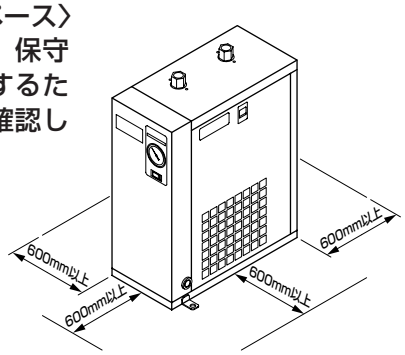
〈床面〉
■振動のない床面へ設置してください。

■水平な床面に設置してください。

■地盤の軟弱な所では基礎工事を行ってください。

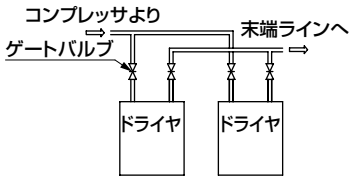
〈振動〉
■レシプロコンプレッサ使用の場合は、エアドライヤとの配管の一部に振動吸収用としてフレキシブルチューブや高圧用ゴムホースを使用してください。

〈メンテナンススペース〉
■風通しを良くし、保守点検をしやすくするためにスペースを確認してください。

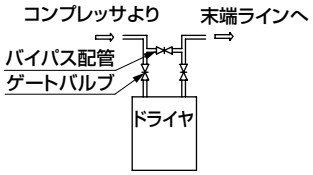


〈空気配管方法〉
■本機上部の空気配管出入口に配管を接続してください。出入口を間違えないでください。配管されるときは、空気出入口のアダプタをスパナ又はモンキーレンチ等で押えてネジ込んでください。

■ドライヤを下図のように配管してください。
24 時間運転の場合：
万一に備え並列設置をお勧めします。
1 台は常時使用、もう 1 台は予備機です。



断続運転の場合：
メンテナンス用に、バイパス配管を設置してください。



■ドライヤの一次側には、ゴミ・異物の流入を避けるために、必ずプレフィルタを設置してください。

■配管質量が本体に加わることのないように配管設計を行ってください。

■配管は使用圧力に十分耐えられるものとし、接続部からのエア漏れがないようにしてください。

■配管材は、亜鉛メッキ鋼管（白管）を推奨します。また、仕様、用途に応じてステンレス配管を使用してください。

〈ドレン配管方法〉
■ドレンホースの排出端は大気開放としてください。

■ドレンホース先端を配管へ接続される場合は、ドレン配管に立ち上がりがあったり、配管が長すぎると背圧がかかり、ドレンが排出されないことがあります。ドレンが自然に流れるように下り勾配の配管を施してください。

■ドレンに油が混入する場合は、排水処理が必要です。処理についてはお近くの産業廃棄物専門業者にご相談ください。

使用・メンテナンス時

⚠ 警告

〈フロン回収〉
■本製品は「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律（フロン回収破壊法）」に該当します。廃棄あるいは修理時においては、必ずフロンガスの回収を実施してください。
フロンガスの回収については、当社各営業所へお問い合せください。

⚠ 注意

〈消耗部品〉
■長く安心してご使用いただくために、定期的に消耗状態を点検して、部品を交換してください。内容は、製品に添付されております取扱説明書を参照してください。

〈定期保守部品〉
■長く安心してご使用いただくために、定期的に定期保守部品の点検を実施し、標準交換時期に基づいて交換してください。
内容は、製品に添付されております取扱説明書を参照してください。

冷凍式エアドライヤ ゼロアクア

GK3100 Series

適用エアコンプレッサ：～2.2kW、～5.5kW

JIS 記号

仕様

形番			GK3103	GK3106
適用エアコンプレッサ		kW	～2.2	～5.5
使用範囲	使用流体		圧縮空気	
	入口空気温度	℃	5～50	
	入口空気圧力	MPa	0.15～1.0	
	周囲温度	℃	2～40	
定格	処理流量 m^3/min(ANR)(注2)	50/60Hz	0.32/0.37	0.75/0.82
	入口空気温度	℃	35	
	入口空気圧力	MPa	0.7	
	周囲温度	℃	32	
性能	出口空気圧力露点(注3)	℃	10	
	圧力降下 MPa(注4)	50/60Hz	0.002/0.003	0.015/0.018
電源			単相 AC100/100-110V 50/60Hz 単相 AC200/200-220V 50/60Hz	
電気仕様	消費電力 kW	50/60Hz	0.18/0.19	0.20/0.20
	運転電流(100V時)A	50/60Hz	2.0/1.9	2.2/2.0
	運転電流(200V時)A	50/60Hz	1.1/1.0	1.2/1.1
	起動電流(100V時)A	50/60Hz	5.1/4.8	5.1/4.8
	起動電流(200V時)A	50/60Hz	2.7/2.6	2.7/2.6
冷媒			R-407C	
空気出入口配管口径			Rc1/2	
ドレンホースサイズ		mm	内径φ6×機外長さ約1800	
製品質量		kg	16	18
排熱量 kW		50/60Hz	0.29/0.31	0.52/0.57

注1. 標準塗装色　本体パネル：クオリティクールホワイト(マンセルNo.5GY7.5/0.5)
操作パネル：クオリティクールグレー(マンセルNo.3G6.0/0.5)
ベース　：マンセルNo.N3.0

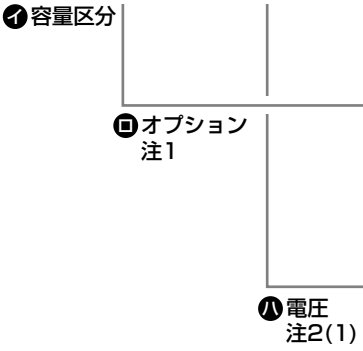
注2. ANRは20℃大気圧、相対湿度65%での状態を示しています。

注3. 露点の性能保証については別途お問い合わせください。

注4. 圧力降下の値は代表値であり、保証値ではありません。

形番表示方法

GK31 03 - M1 - AC200V

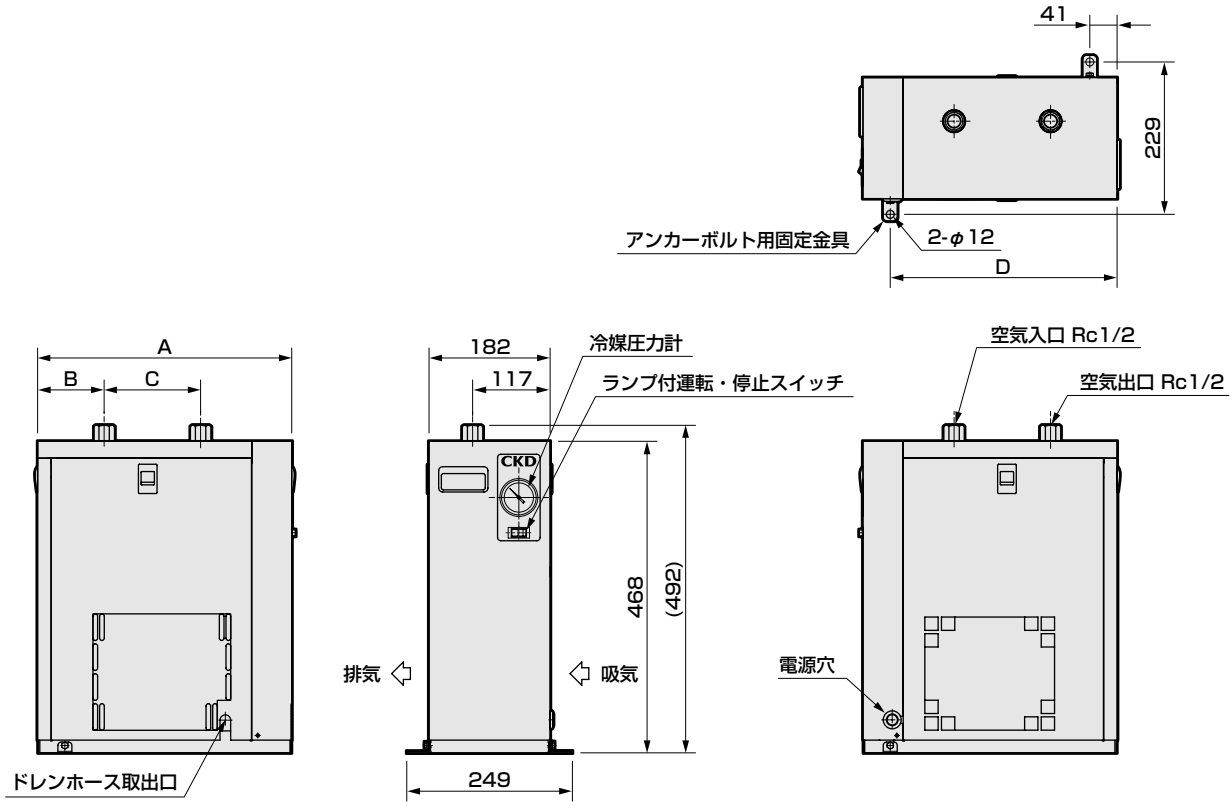


記号	内容
㋑ 容量区分	
03	～2.2kW
06	～5.5kW
㋺ オプション	
H	英文仕様
H3	簡易輸出梱包
M1	運転信号取り出し(注2-(2))
Y2	完成品写真
㋩ 電圧	
AC100V	
AC200V	

⚠ 形番選定にあたっての注意事項

注1: オプションはアルファベット順にならべて指示してください。
注2: （1）㋩項の電圧は標準品の場合も必ず指示してください。
例）GK3103-AC200V
（2）オプションM1は運転信号の取り出しのみとなります。
遠隔操作を行う場合は、ドライヤのスイッチをONにした状態で電源側で行ってください。

外形寸法図

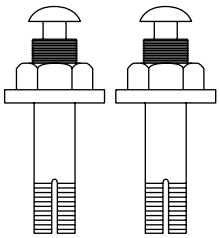


注1. アンカーボルト用固定金具（2個）は付属品になります。
注2. AC100Vタイプは、プラグ付電源コード（アース付）が取り付きます。
・GK3103-AC100V：約2.6m
・GK3106-AC100V：約2.5m
注3. ドレンホース（内径φ6）は機外長さ約1.8mになります。

形番	A	B	C	D
GK3103	382	100	145	341
GK3106	447	65	245	406

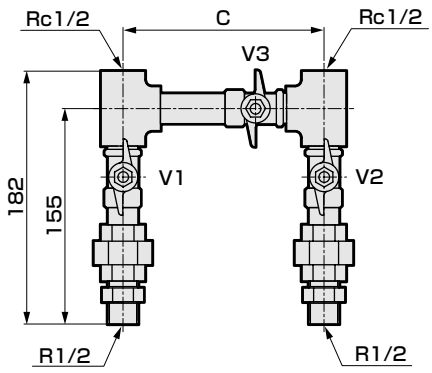
アクセサリ（別売品）

基礎ボルトセット（別売品）



品番	サイズ	材質	数量
RD-QFL-391515	M10×100	SUS	2

バイパス配管セット（別売品）



品番	適応機種	C
RD-AD3-168275	GK3103	145
RD-AD3-168276	GK3106	245

V1,V2,V3……ボールバルブ
V1,V2：常時開 NORMAL OPEN
V3 ：常時閉 NORMAL CLOSE

技術資料

飽和水蒸気量表（相対湿度100%）

（単位:g/m³）

10℃単位における温度℃	1℃単位における温度℃ 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
90	418	433	449	465	481	498	515	532	551	569
80	291	302	313	325	337	350	363	376	390	404
70	197	205	213	222	231	240	250	259	270	280
60	130	135	141	147	154	160	167	174	182	189
50	82.8	86.7	90.8	95.0	95.5	104	109	114	119	124
40	51.1	53.7	56.4	59.3	62.2	65.3	68.5	71.9	75.4	79.0
30	30.3	32.0	33.7	35.6	37.6	39.6	41.7	43.9	46.2	48.6
20	17.2	18.3	19.4	20.6	21.8	23.0	24.4	25.8	27.2	28.7
10	9.39	10.0	10.7	11.3	12.1	12.8	13.6	14.5	15.4	16.3
0	4.85	5.19	5.56	5.94	6.36	6.79	7.26	7.75	8.27	8.81
− 0	4.84	4.48	4.13	3.82	3.52	3.24	2.99	2.75	2.53	2.33
−10	2.14	1.96	1.80	1.65	1.51	1.39	1.27	1.16	1.06	0.967
−20	0.882	0.804	0.732	0.667	0.607	0.551	0.501	0.454	0.412	0.373
−30	0.338	0.305	0.276	0.249	0.225	0.203	0.183	0.164	0.148	0.133
−40	0.119	0.107	0.0955	0.0854	0.0763	0.0681	0.0608	0.0541	0.0482	0.0428
−50	0.0381	0.0338	0.0299	0.0265	0.0234	0.0207	0.0183	0.0161	0.0142	0.0125
−60	0.0109	0.00959	0.00840	0.00734	0.00642	0.00560	0.00488	0.00425	0.00369	0.00320
−70	0.00277	0.00240	0.00207	0.00179	0.00154	0.00133	0.00114	0.000977	0.000836	0.000715
−80	0.000610	0.000520	0.000442	0.000376	0.000318	0.000269	0.000228	0.000192	0.000162	0.000136
−90	0.000114	0.0000952	0.0000795	0.0000663	0.0000551	0.0000458	0.0000379	0.0000313	0.0000259	0.0000213

飽和水蒸気量表の見方

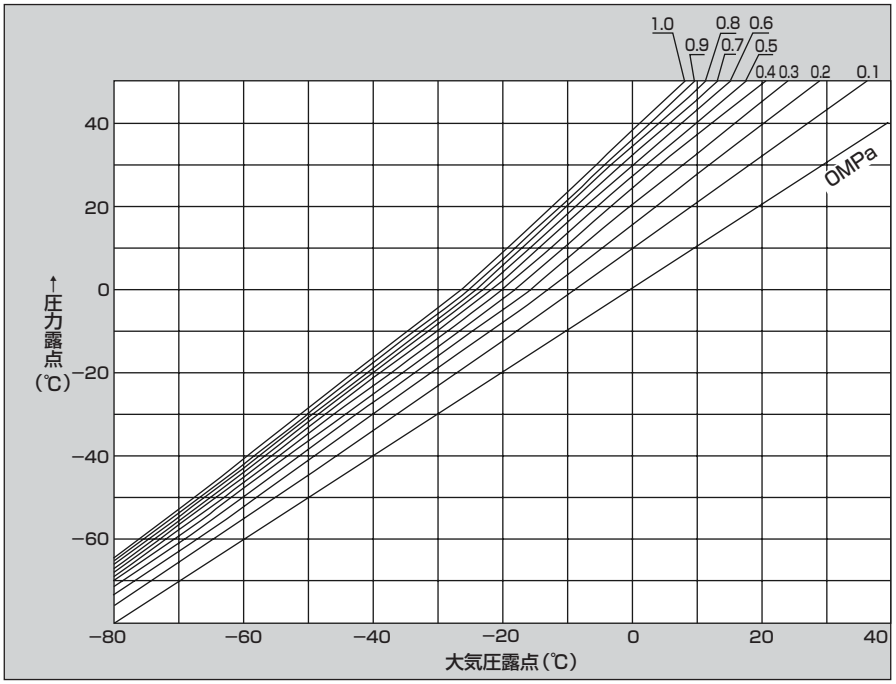
表の見方は縦列に10℃単位の温度、横列に1℃単位の温度で区別しています。

（例） 32℃の時の飽和水蒸気量を求めます。

10℃単位における温度℃	1℃単位における温度℃ 0	1	2	3		
40						
30			33.7			
20						

上記表の見方より33.7g/m³が選べます。

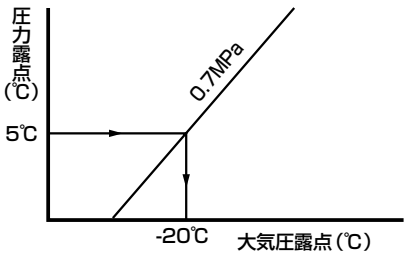
圧力露点−大気圧露点換算表



圧力露点−大気圧露点換算表の見方

この表は、各圧力における圧力露点を大気圧露点に、または大気圧露点を圧力露点に換算する時に使用します。

（例）圧力0.7MPa・圧力露点5℃の時、
大気圧露点を求めます。



圧力0.7MPaにおいて、圧力露点5℃を大気圧露点に換算しますと-20℃になります。

お問合せは
お近くの営業所へどうぞ

CKD株式会社

北　海　道

●札幌営業所
〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26（苗穂駅前ビル1階）
TEL（011）232-1760　FAX（011）232-9050

東　　北

●北上営業所
〒024-0034 岩手県北上市諏訪町2-4-26
TEL（0197）63-4147　FAX（0197）63-4186
●仙台営業所
〒984-0015 仙台市若林区卸町2-2-1（パックス2・1階）
TEL（022）239-1851　FAX（022）239-1856
●山形営業所
〒990-0834 山形県山形市清住町3-5-19
TEL（023）644-6391　FAX（023）644-7273
●郡山営業所
〒963-8034 福島県郡山市島1-16-9
TEL（0249）23-6348　FAX（0249）24-0862

北　関　東

●大宮営業所
〒330-0812 さいたま市北区宮原町3-429-1（第一清水ビル2階）
TEL（048）652-3811　FAX（048）652-3816
●茨城営業所
〒300-0847 茨城県土浦市卸町1-1-1（関鉄つくばビル4階C）
TEL（029）841-7490　FAX（029）841-7495
●宇都宮営業所
〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷3-1-7（NBF宇都宮ビル3階）
TEL（028）638-5770　FAX（028）638-5790
●太田営業所
〒373-0813 群馬県太田市内ケ島町946-2（大槻総合ビル1階）
TEL（0276）45-8935　FAX（0276）46-5628

南　関　東

●東京営業所
〒105-0013 東京都港区浜松町1-31-1（文化放送メディアプラス4階）
TEL（03）5402-3628　FAX（03）5402-0122
●立川営業所
〒190-0022 東京都立川市錦町3-2-30（朝日生命立川錦町ビル3階）
TEL（042）527-3773　FAX（042）527-3782
●千葉営業所
〒274-0825 千葉県船橋市前原西2-12-15（朝日生命津田沼ビル5階）
TEL（047）470-5070　FAX（047）493-5190
●横浜営業所
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-17-19（日総第15ビル4階）
TEL（045）475-3471　FAX（045）475-3470
●厚木営業所
〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲1212-3
TEL（046）226-5201　FAX（046）226-5208
●甲府営業所
〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1509
TEL（055）224-5256　FAX（055）224-3540
●東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-31-1（文化放送メディアプラス4階）
TEL（03）5402-3620　FAX（03）5402-0120

北　陸・信　越

●長岡営業所
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-4-33（高野不動産ビル2階）
TEL（0258）33-5446　FAX（0258）33-5381
●上田営業所
〒386-0034 長野県上田市大字中之条323-6（NFビル103号）
TEL（0268）24-2392　FAX（0268）24-2394
●松本営業所
〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5945
TEL（0263）25-0711　FAX（0263）25-1334
●富山営業所
〒939-8071 富山県富山市上袋100-35
TEL（076）421-7828　FAX（076）421-8402
●金沢営業所
〒920-0025 石川県金沢市駅西本町3-16-8
TEL（076）262-8491　FAX（076）262-8493

東　　海

●名古屋営業所
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）74-1371　FAX（0568）77-3291
●豊田営業所
〒473-0912 愛知県豊田市広田町広田103
TEL（0565）54-4771　FAX（0565）54-4755
●静岡営業所
〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹1-3-5
TEL（054）237-4424　FAX（054）237-1945
●浜松営業所
〒435-0016 浜松市東区和田町438
TEL（053）463-3021　FAX（053）463-4910
●四日市営業所
〒512-1303 三重県四日市市小牧町字高山2800
TEL（059）339-2140　FAX（059）339-2144
●名古屋支店
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）74-1356　FAX（0568）77-3317

関　　西

●大阪営業所
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-3-20
TEL（06）6459-5775　FAX（06）6446-1955
●大阪東営業所
〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1-2-3（損保ジャパン守口ビル6階）
TEL（06）4250-6333　FAX（06）6991-7477
●堺営業所
〒591-8021 大阪府堺市北区新金岡町5-5-6（泉マンション1階）
TEL（072）253-0071　FAX（072）253-0054
●滋賀営業所
〒524-0033 滋賀県守山市浮気町字中ノ町300-21（第2小島ビル4階）
TEL（077）514-2650　FAX（077）583-4198
●京都営業所
〒612-8414 京都市伏見区竹田段川原町35-3
TEL（075）645-1130　FAX（075）645-4747
●奈良営業所
〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町460-15（オッシェム・ロジナ1階）
TEL（0743）57-6831　FAX（0743）57-6821
●神戸営業所
〒673-0016 兵庫県明石市松の内2-6-8（西明石スポットビル3階）
TEL（078）923-2121　FAX（078）923-0212
●大阪支店
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-3-20
TEL（06）6459-5770　FAX（06）6446-1945

中　　国

●広島営業所
〒730-0022 広島市中区銀山町3-1（ひろしまハイビル21 12階）
TEL（082）545-5125　FAX（082）244-2010
●岡山営業所
〒700-0916 岡山県岡山市西之町10-104
TEL（086）244-3433　FAX（086）241-8872
●山口営業所
〒747-0801 山口県防府市駅南町6-25
TEL（0835）38-3556　FAX（0835）22-6371

四　　国

●高松営業所
〒760-0055 香川県高松市観光通2-2-15（ダイヤビル）
TEL（087）834-9640　FAX（087）834-9633
●松山営業所
〒790-0053 愛媛県松山市竹原2-1-33（サンライト竹原1階）
TEL（089）931-6135　FAX（089）931-6139

九　　州

●北九州営業所
〒802-0976 北九州市小倉南区南方5-13-34
TEL（093）964-0785　FAX（093）964-0910
●福岡営業所
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-10-27（アスティア博多ビル5階）
TEL（092）473-7136　FAX（092）473-5540
●大分営業所
〒871-0015 大分県中津市牛神町1-11-1
TEL（0979）26-0725　FAX（0979）23-6866
●熊本営業所
〒869-1103 熊本県菊池郡菊陽町久保田2799-13
TEL（096）340-2580　FAX（096）340-2584

本　　社

●本社・工場
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）77-1111　FAX（0568）77-1123
●営業本部
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）74-1303　FAX（0568）77-3410
●海外営業部
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）74-1338　FAX（0568）77-3461

CKD Corporation

Website　http://www.ckd.co.jp/

☐ 2-250 Ouji Komaki, Aichi 485-8551, Japan
☐ PHONE +81-(0)568-74-1338　FAX +81-(0)568-77-3461

U.S.A
CKD USA CORPORATION
●HEADQUARTERS
4080 Winnetka Avenue, Rolling Meadows, IL 60008 USA
PHONE +1-847-368-0539　FAX +1-847-788-0575
・CINCINNATI OFFICE
・SAN ANTONIO OFFICE
・SAN JOSE OFFICE

Canada
CKD CANADA
35 Green Valley Drive, Unit #409, Kitchener,
Ontario N2P 2A5, Canada
PHONE +1-519-208-5983　FAX +1-519-208-5983

Europe
CKD EUROPE BRANCH
De Fruittuinen 28 Hoofddorp 2132NZ The Netherlands
PHONE +31-(0)23-5541490　FAX +31-(0)23-5541491
・CZECH OFFICE
・BELGIUM OFFICE
・UK OFFICE

Malaysia
M-CKD PRECISION SDN.BHD.
●HEADQUARTERS
Lot No.6,Jalan Modal 23/2, Seksyen 23, Kawasan, MIEL,
Fasa 8, 40300 Shah Alam,Selangor Darul Ehsan, Malaysia
PHONE +60-(0)3-5541-1468　FAX +60-(0)3-5541-1533
・JOHOR BAHRU OFFICE
・MELAKA OFFICE
・PENANG OFFICE

Thailand
CKD THAI CORPORATION LTD.
●SALES HEADQUARTERS-BANGKOK OFFICE
Suwan Tower, 14/1 Soi Saladaeng 1, North Sathorn Rd.,
Bangrak, Bangkok 10500 Thailand
PHONE +66-(0)2-267-6300　FAX +66-(0)2-267-6305
・LAEMCHABANG OFFICE
・NAVANAKORN OFFICE
・RAYONG OFFICE
・LAMPHUN OFFICE
・KORAT OFFICE
・AMATANAKORN OFFICE

Singapore
CKD SINGAPORE PTE LTD.
705 Sims Drive #03-01/02, Shun Li Industrial Complex,
387384 Singapore
PHONE +65-6744-2623　FAX +65-6744-2486

Taiwan
日商喜開理股份有限公司台湾分公司
CKD CORPORATION TAIWAN BRANCH
台北市中山北路二段96號嘉新大樓第14樓1405室
Rm.1405,14F,No.96,Sec.2,Chung Shan N.Rd.,Taipei, Taiwan,R.O.C
PHONE +886-(0)2-2523-0374　FAX +886-(0)2-2523-5081

China
喜開理（上海）機器有限公司
CKD(SHANGHAI)CORPORATION
●営業部/上海事務所（SALES HEADQUARTERS / SHANGHAI OFFICE）
中国上海市黄浦区九江路333号金融廣場19楼1903室
Room 1903, 333 Jiujiang Road, Shanghai, 200001, China
PHONE +86-(0)21-63602277　FAX +86-(0)21-63511661
・無錫事務所（WUXI OFFICE）
・南京事務所（NANJING OFFICE）
・杭州事務所（HANGZHOU OFFICE）
・武漢事務所（WUHAN OFFICE）
・青島事務所（QINGDAO OFFICE）
・蘇州事務所（SUZHOU OFFICE）
・北京事務所（BEJING OFFICE）
・天津事務所（TIANJING OFFICE）
・長春事務所（CHANG CHUN OFFICE）
・大連事務所（DALIAN OFFICE）
・瀋陽事務所（SHENYANG OFFICE）
・西安事務所（XIAN OFFICE）
・重慶事務所（CHONGQING OFFICE）
・成都事務所（CHENGDU OFFICE）
・広州事務所（GUANGZHOU OFFICE）
・深圳事務所（SHENZHEN OFFICE）

Korea
CKD KOREA CORPORATION
Room No.1105, 11th FL, The Korea Teachers Pention B/L.
27-2, Yoido-Dong, Youngdeungpo-Gu, Seoul, 150-742, Korea
PHONE +82-(0)2-783-5201～5203 FAX +82-(0)2-783-5204
・華城営業所（HWASEONG OFFICE）

本カタログに記載の製品及び関連技術は、外国為替及び外国貿易法のキャッチオール規制の対象となります。
本カタログに記載の製品及び関連技術を輸出される場合は、兵器・武器関連用途に使用されるおそれのないよう、ご留意ください。
The goods and their replicas, or the technology and software in this catalog are subject to complementary export regulations by Foreign Exchange and Foreign Trade Law of Japan.
If the goods and their replicas, or the technology and software in this catalog are to be exported, laws require the exporter to make sure they will never be used for the development or the manufacture of weapons for mass destruction.

●このカタログに掲載の仕様および外観を、改善のため予告なく変更することがあります。
●Specifications are subject to change without notice.

2007.7.CEC